

平成24年度
文学フォーラム

青森／青春の風景

青森の「青」は、青春の「青」。

弘前学院大学文学部の教員たちが、各々の専門とする立場から、「青森の青春」の姿について語ります。

パネルフォーラム



■ 川浪亜弥子 [英文学]
シェイクスピアの『ハムレット』と
太宰治の『新ハムレット』



■ 井上 諭一 [日本近現代文学]
葛西善蔵から川上健一まで
— 芸術作品に見る、青森の青春



■ 佐々木正晴 [知覚心理学]
「論理の力」と「感性の力」はどこからくるのか？

■ コーディネーター／三浦 一郎

日程 1月26日[土] 13:30～15:30

会場 弘前市民会館 大会議室



入場無料
申込不要

主催／弘前学院大学 地域総合文化研究所
共催／弘前学院大学 文学部

[学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム補助事業]

問い合わせ／弘前学院大学 [担当：三浦・生島] 〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1 TEL 0172-34-5211 FAX 0172-32-8768





青森の「青」は、青春の「青」。

深い雪に閉ざされる冬、雄大な山々に見下ろされる広く豊かな土地、

そして、それらから生み出される心象風景…

青森で過ごした若者たちの青春は、近現代の文学作品や研究成果に様々な形で反映されています。

弘前学院大学文学部の教員で、英文学、日本文学、知覚心理学のそれぞれを専門とする

パネリストの話題がどのように結びつき、どのような化学反応を見せるのか—

様々な「青森の青春」の姿をご自身の目と耳で感じ、確かめてみて下さい。

■ 川浪亜弥子 [英文学]

シェイクスピアの『ハムレット』と太宰治の『新ハムレット』

シェイクスピアの『ハムレット』はある一人の青年の苦悩を描いた悲劇です。この作品の翻案として、太宰治は『新ハムレット』を書きました。二つのハムレット像を比較して、それぞれの作家が根差す精神的・物理的風景を浮き彫りにします。

■ 井上 諭一 [日本近現代文学]

葛西善蔵から川上健一まで—芸術作品に見る、青森の青春

古くは葛西善蔵や太宰治に、戦後は寺山修司や三浦哲郎に描かれた青春の姿と、川上健一「四月になれば彼女は」「翼はいつまでも」など現代の小説やマンガに描かれる像を比較して、「青森の青春」の実態に迫ります。

■ 佐々木正晴 [知覚心理学]

「論理の力」と「感性の力」はどこからくるのか？

知覚心理学の実験を通じて、新発見をする「論理の力」と伸びやかな「感性の力」を発揮した二人の学生がいます。彼らにその力の源を尋ねると、大切なのは、子供時代にしてきた遊びを、今も同じように、同じ場所で楽しむことでした。同じ景色を色々な高さで見て、ずっと楽しむことが生み出す力について考えてみたいと思います。

青森／青春の風景

